

# 令和6年亀岡市議会定例会6月議会一般質問

亀岡市議会

## 令和6年亀岡市議会定例会6月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
6月18日(火)	10:00～	個人	1 土岐 新	一問一答	
	10:45～		2 大石 慶明	一問一答	
			休憩		
	13:00～		3 大塚 建彦	一問一答	
	13:45～		4 梅本 靖博	一問一答	
			休憩		
	14:45～	5 片山 輝夫	一問一答		
6月19日(水)	10:00～	個人	6 林 徹司	一問一答	
	10:45～		7 竹内 博士	一問一答	
			休憩		
	13:00～		8 小林 仁	一問一答	
	13:45～		9 浅田 晴彦	一問一答	
			休憩		
	14:45～		10 原野 実生子	一問一答	
15:30～	11 三上 泉	一問一答			
6月20日(木)	10:00～	個人	12 山本 由美子	一問一答	
	10:45～		13 法貴 隆司	一問一答	
			休憩		
	13:00～		14 平本 英久	一問一答	
	13:45～		15 山木 裕也	一問一答	
			休憩		
	14:45～		16 大西 陽春	一問一答	
15:30～	17 富谷 加都子	一問一答			
6月21日(金)	10:00～	個人	18 西口 純生	一問一答	
	10:45～		19 木村 勲	一問一答	
			休憩		
	13:00～		20 小川 克己	一問一答	
	13:45～		21 松山 雅行	一問一答	

### 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。





		<p>4 放課後等デイサービスについて</p>	<p>(1)過去5年間における職員からの心身のな理由による相談件数の推移は。</p> <p>(2)職員の健康管理についての相談受付体制の整備状況は。</p> <p>(3)近年増加しているカスタマーハラスメント(カスハラ)に対する取組について、職員を守るため、この6月議会において「亀岡市不当要求行為等対策条例」を提案されていることはすばらしいと考える。カスハラに関する具体的な取組を考えているのか。</p> <p>①当市におけるカスハラ事例は。</p> <p>②カスハラ対策の一環として、職員の名札の表記をフルネームから名字のみにしている自治体がある。当市も採用すべきと考えるが所見は。</p> <p>(4)庁舎出入口には防犯カメラが設置されているが、職員の安全確保の観点から市民窓口等の職場にも設置すべきと考えるが所見は。</p> <p>(5)市民窓口となる電話は録音機能を付与すべきと考えるが所見は。</p> <p>放課後等デイサービスについて、近年、事故等が増加している状況である。そこで当市の取組について問う。</p> <p>(1)当市の施設数は。</p> <p>(2)施設利用者数は。</p> <p>(3)全国で通所する子どもが一時的に行方不明となったケースが、過去5年間で少なくとも399件も発生していると聞いている。</p> <p>①当市における事故等の発生件数は。</p> <p>②一時行方不明の主な要因は支援員の人手不足・経験不足であると言われていたが、当市の必要人員の充足状況は。</p> <p>③支援員育成の取組は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>大塚 建彦 6月18日(火) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 全国都市緑化フェアについて</p>	<p>全国都市緑化フェア in 京都丹波は、亀岡市、南丹市、京丹波町の魅力を発信するために開催されるイベントで、令和8年の秋に開催が決定した。昭和58年から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典で、日本最大級の緑のイベントである。</p> <p>(1)事業を実施するに当たって、本市が来場者に最もアピールしたい点は何か。</p> <p>(2)本市のフェア拠点である2か所には、それぞれ「周辺」と記載されているが、具体的にはどの地域を指しているのか。「周辺」には、JR亀岡駅南から南郷公園までの電線が地中化された駅南シンボルロードは含まれるのか。</p> <p>(3)京都丹波地域の様々な祭事等と積極的に連携するとある。フェアの期間中、鍬山神社や走田神社の秋の祭礼や亀岡祭山鉾巡行等も地域の魅力として活用する考えは。</p>	<p>市長</p>

		<p>2 令和6年度介護報酬改定について</p>	<p>(4)本市と姉妹都市であるオーストリアのクニッテルフェルト市は、世界平和言語であるエスペラント語によって結ばれた。この機会に移転されるクニッテル通りの世界平和宣言都市の碑に、エスペラント語の銘板を設置する考えはあるのか。</p> <p>令和6年度の介護報酬改定について、厚生労働省は介護サービス全体で報酬を1.59%引き上げると発表した。その内訳としては、介護職員の処遇改善分0.98%増、介護事業所への支払いである基本報酬0.61%増である。</p> <p>(1) 通所介護・介護予防通所介護における具体的な報酬の改定内容は。</p> <p>(2) 今回の改定によって、介護予防通所介護運動器機能向上加算が基本報酬に包括化され廃止となった。これに伴い事業者への支払い報酬はどのようになるのか。</p> <p>(3) 令和6年3月15日、厚生労働省通達、介護予防・日常生活支援総合事業に係る第一号事業支給費の額を市町村が別に定める場合の取扱いの内容は。</p> <p>(4) (3)について、市町村は事業の継続性や介護人材の確保の状況等を踏まえ、本基準の額を引き上げるか、別途委託費等の支給を行うことができるとあるが、本市の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 介護施設の入浴介助支援について</p>	<p>令和6年2月、亀岡デイ部会は、通所介護予防施設における入浴支援に関するアンケート調査を行った。令和5年度時点でデイ部会に参加する会員数は16事業所であり、内訳としては通所介護施設が13事業所、通所リハビリ施設が3事業所である。今回の調査で判明した、通所介護施設13事業所における入浴支援状況を踏まえて問う。</p> <p>(1) 介護予防通所介護施設で入浴介助加算がつかない理由は。</p> <p>(2) 利用者や家族から入浴支援の希望が多く、清潔の保持や生活機能を維持するために13事業者中、12事業者がボランティアで入浴支援を実施している。この現状について本市の認識は。</p> <p>(3) 介護予防の実施主体は市町村である。本市において入浴支援に一定額の加算をつける考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 包括支援センターの運営について</p>	<p>地域包括支援センターは、高齢化や核家族化、貧困等、社会における課題が複雑化している中で多忙を極めている。</p> <p>(1) 本市における、地域包括支援センターの現状と役割は。</p> <p>(2) 地域包括支援センターの委託料の算定根拠は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		5 里地里山保全再生事業について	<p>(3)平成28年度の会計検査院による意見表示の取扱いについて問う。</p> <p>(4)物価高騰や社会情勢の変化が激しい中、委託料を引き上げる考えは。</p> <p>有害鳥獣による農作物や植林等の被害だけではなく、近年、里山周辺に熊の出没が相次いでおり、それらの被害等を防ぐことを目的として、環境省は里地里山保全モデル事業を行っている。</p> <p>(1)里山保全活動とはどのような内容か。</p> <p>(2)有害鳥獣被害を防ぐために、どのような対策を講じるのか。</p> <p>(3)現在、京都府北部の綾部市、宮津市が、モデル事業実施地域として指定されている。本市においても、旭町から本事業の実施について要望の声があるが、本市の考えは。</p>	市長 所管部長
4	梅本 靖博 6月18日(火) 13:45~  ※一問一答	1 職員のメンタルヘルス対策について	<p>労働安全衛生の観点から、本市職員のメンタルヘルス対策について問う。</p> <p>(1)本市の安全衛生管理の体制は。</p> <p>(2)安全衛生委員会の開催頻度、産業医の参加状況は。</p> <p>(3)現場の巡視状況は。またリスクアセスメントの実施状況とその実例は。</p> <p>(4)時間外労働が80時間を超過した場合の対処は。</p> <p>(5)健康診断、ストレスチェックの実施状況は。</p> <p>(6)産業医の面談を希望した職員の数と実施率は。</p> <p>(7)亀岡市不当要求行為等対策条例との関連性は。</p> <p>(8)市民全体を含んだカスタマーハラスメント防止を目的とした条例化に向けての見解は。 亀岡市不当要求行為等対策条例とカスタマーハラスメント防止はともに人を守るためにある。その観点から問う。</p> <p>(9)人権尊重推進条例との位置づけについて見解は。</p>	市長 所管部長
		2 経済対策について	<p>企業誘致を積極的に進めている本市の取組と地元企業とのマッチング、また物価高騰等に直面する市民や中小零細企業等への支援について問う。</p> <p>(1)篠町篠企業団地の企業誘致が地元企業に与えた影響は。</p> <p>(2)篠町篠企業団地で操業している企業と地元企業の取引状況は。</p> <p>(3)地元企業との交流会等の開催実績は。また取引につながった事例は。</p> <p>(4)亀岡商工会議所が分析を行っている経営・経済動向調査済の課題に対する支援策は。</p> <p>(5)中長期的な計画を策定し、持続可能な企業支援をまとめた条例の必要性は。</p>	市長 所管部長

		3 環境政策について	<p>(6) 市民に向けた物価高対策は。</p> <p>カーボンニュートラルの実現に向けて再生可能エネルギーのゾーニングに取り組んでいる本市の脱炭素の取組の進捗について問う。</p> <p>(1) かめおか脱炭素未来プランの進捗状況は。</p> <p>(2) 建設中の環境プロモーションセンターの具体的な活動は。</p> <p>(3) 再生可能エネルギー推進の機運醸成の手段は。</p> <p>(4) 路面舗装型太陽光パネル発電システム導入について所見は。</p>	市長 所管部長
5	片山 輝夫 6月18日(火) 14:45~  ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>岸田政権による軍事費倍増、敵基地攻撃能力保有、自衛隊基地強化、米軍と自衛隊との指揮命令系統一体化、次期戦闘機の海外輸出解禁など、平和憲法の理念を大きく逸脱する安全保障政策の大転換が急速に進んでいる。</p> <p>(1) 一連の戦争する国づくりに突き進む事態に、「新しい戦前」を想起すると、市民からの声が上がっているが市長の所見は。</p> <p>(2) 緊急事態(有事)に対応するため、国内法の改正が矢継ぎ早に行われている。国の指示権拡大による地方自治への介入が懸念されるが、今回の地方自治法改正案に対する市長の認識は。</p> <p>(3) 一般社団法人日本農業との包括連携協定が令和6年4月3日に締結されたが、その中大阪・関西万博で使用されるパビリオンの再活用の推進が記載されている。京都・亀岡保津川公園が移転先の候補地に上がっているが、遊水地のうえ移設経費も必要であり、積極的に取り組むべきでないと考えているが市長の所見は。</p>	市長
		2 市職員の勤務環境改善について	<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行後、各種行事・イベントが復活し、市職員の土・日・休日出勤が増加している。</p> <p>(1) 休日出勤に伴う令和5年度振替休日の取得率は。</p> <p>(2) 現在、総合土木職と保育士・幼稚園教諭の追加募集がされているが、各部局における職員定数に対する欠員状況は。</p> <p>(3) 追加募集に対する応募状況は。</p> <p>(4) 亀岡市立病院の看護師等、会計年度任用職員の募集も行われているが、採用決定されたのか。</p> <p>(5) 令和6年4月1日から創設された亀岡市保育士等奨学金返還支援事業の申請状況は。</p>	市長 病院事業管理者 所管部長
		3 地域経済の活性化について	<p>この間の円安による物価高騰や戦後最長25か月連続の実質賃金の低下による消費低迷で、地域経済の好循環が見通せない中、高齢化も重なり</p>	市長 所管部長

		<p>4 国営桂川西工区工事について</p>	<p>廃業を決断する市内事業者が増えている。  (1) 地域経済を支える市内事業者の経営状況をどのように認識しているのか。  (2) 全国的に中小企業の「価格転嫁できない」「社会保険料負担困難」による倒産が増加しているが、市内事業者にそのようなケースはあるのか。  (3) 亀岡市の公契約要綱では市内事業者発注が原則とあるが、市内事業者への発注割合はどの程度か。  (4) 下請負先を市内事業者にするための周知徹底はどのように行っているのか。</p> <p>国営緊急農地再編整備事業桂川西工区には、上桂川統合堰からの右岸幹線水路が縦断しており、かんがい期には篠町山本までの広範な水田に大量の用水を供給している。現在工区内では、ほ場整備工事と橋梁工事が進められているが、大規模な仮設用水路を敷設して、下流への用水を確保しつつ、平行して工事施工している状況である。  (1) 幹線水路の仮設水路敷設に要する工事金額は幾らか。  (2) 10月から5月までの非かんがい期に工事を行うことは出来なかったのか。  (3) 右岸幹線水路の新設や用水補償のための仮設用水路に係る工事費について、桂川西工区の権利者のみで負担することは納得できないとの声がある。地元負担軽減策を検討すべきではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
6	<p>林 徹司 6月19日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 安全安心なまちづくりについて</p> <p>2 道路整備について</p>	<p>本市は、セーフコミュニティ国内認証都市として、子どもから高齢者まで誰もが安全を実感し安心して暮らせるまちづくりを進めている。  (1) 自転車用ヘルメットの着用率は。  (2) 高校生への自転車の交通ルール遵守はどのように指導しているのか。  (3) 自転車の交通安全における本市としての取組は。  (4) 電動キックボードの規定と本市の現状は。  (5) かめきたりバーサイドパークにおける犬猫の糞尿の改善策として、マナーウェアやペットシートの持参を促しては。  (6) バス停留所におけるベンチの設置状況は。  (7) 京都市伏見区では街にベンチを置く活動が広がり、大津市では協働のまちづくりでバス停にベンチの設置などが行われている。本市も取り入れては。</p> <p>市道中矢田篠線は交通量が多く、大型車の通行も増えている。つつじヶ丘小学校、東輝中学校の通学路でもあることから朝夕は渋滞が発生し、マツモト亀岡東店周辺の交差点には信号が無く、交通事故も多発している。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 教育環境の変化への対応について</p>	<p>(1) マツモト亀岡東店の東側交差点に信号を設置できないか。</p> <p>(2) ひび割れや陥没などの傷みが見受けられ、通学している子どもたちに雨水を跳ね上げる車もあるが、管理・メンテナンスの状況は。</p> <p>(3) 平成4年に市道城山医王谷中山線との接続が計画され、平成14年には一部地元同意も取れていたと聞く。長引いている原因は。</p> <p>(4) 今後、ルート変更はあるのか。</p> <p>(5) 今後の見通しは。</p> <p>今年は国際条約である「子どもの権利条約」批准から30年を迎える。令和4年6月にこども基本法が国会にて成立し、昨年4月より施行され、こども家庭庁も発足した。また、新学習指導要領も全面実施となり、コロナ禍や社会を取り巻く著しい環境変化から教育現場は新たな過渡期といえる。</p> <p>(1) 不登校の現状は。</p> <p>(2) 子どもたちが育つ地元地域では、どのような共働が望ましいと考えるか。</p> <p>(3) 新しいチャレンジとして東輝中学校が本年度より「対話」のある授業づくりをスタートしているがどういう取組か。</p> <p>(4) 佐賀市立東与賀中学で話題となっている学び合い授業とはどういう取組か。</p>	<p>教育長</p>
7	<p>竹内 博士 6月19日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 山間地域の災害時等の課題について</p>	<p>5月28日の豪雨では、市内各所で被害があった。特に、山間地域は災害時や緊急時における課題も多く、住民から常に心配の声が上がっている。</p> <p>(1) 国道423号に一部冠水が見られたとのことであり、以前、雨水処理工事をしたにもかかわらず、水がはけない現状について今後の対策をどう考えているのか。</p> <p>(2) 5月28日の気象警報発令により、学校によっては午前の授業後に下校となったとのことであるが、育親学園において、送りのバスの配車に問題があったと聞く。原因や今後の対策は。</p> <p>(3) 畑野町2区平井・閉亀地域の土砂崩れ現場の放置について、令和2年度に閉亀川上流の大岩を除去し、令和5年度は大路次川と閉亀川の合流地点の対面に河川ブロックを積み上げるとのことであったが現状と今後の予定は。</p> <p>(4) 畑野町では救急車の到着時間が課題の一つとなっており、令和5年12月議会において、市長から「救急車だけ置く施設の整備を目指す」との答弁があったが、進捗状況はどうか。</p> <p>(5) 旧別院中学校及び畑野、本梅、青野小学校の旧校舎を今後どのように利用していくの</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>2 リサイクルと生活支援について</p> <p>3 オーガニックビレッジ宣言について</p>	<p>か、現状と課題は。</p> <p>物価高騰による生活困窮者が増えている中、環境先進都市として、不要になった物品のリサイクルにより、市民生活を支える取組も有効と考える。</p> <p>(1) 亀岡市におけるリサイクルの取組の現状は。また、それらは市民生活にどのように役立っているのか。</p> <p>(2) 亀岡市子育て支援センターでは、以前からベビー用品の物品リサイクル「ゆずります・もらいます」の取組をされているが、状況を把握しているのか。</p> <p>(3) 市としてバックアップし、さらに拡充してはどうか。</p> <p>(4) 学校の制服に係る費用負担は市民にとって大きく、リユースのニーズはあるものと考え。以前、曾我部町のリユース制服店と連携する話があったと聞くが現状は。</p> <p>(5) 制服のリユース事業について、堺市で実施されている、「リユース制服×ひとり親応援プロジェクト Re制服」の取組が本市でも導入できないか。</p> <p>オーガニックビレッジ宣言の効果もあり、市内外問わずオーガニック食材に関心を示す傾向を目にすることから、オーガニックビレッジ宣言とシティプロモーションについて問う。</p> <p>(1) オーガニック食材の販売店や飲食店の情報を尋ねられることが多いため、市としてオーガニック食材マップをつくり、分かりやすく発信することで、シティプロモーションにもつながると考えるが所見は。</p> <p>(2) 以前、開かれたアトリエで有機野菜サラダの提供を実験的に実施したが、アンケートによるニーズ分析はどうであったのか。また、有機野菜や有機米の販売に加え、実際にオーガニック食を提供してはどうか。</p> <p>(3) 市内にオーガニックの拠点がほしいとの声を聞く中で、既存施設の一角などにオーガニックスーパーを誘致すればニーズがあると考えるがその可能性は。</p> <p>(4) オーガニック給食にスポットを当てたドキュメンタリー映画「夢みる給食」が好評と聞く。自主上映映画の位置づけであるが、シティプロモーションや市民への理解促進の観点から市内で上映してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
8	<p>小林 仁</p> <p>6月19日(水)</p> <p>13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 自治体の消滅可能性について</p>	<p>近年、人口減少と高齢化が進む中で、将来的に消滅する可能性がある自治体が全国的に増加している。人口戦略会議の報告書では、全体の40%に当たる744自治体で人口減少が深刻化し、将来的に消滅の可能性があると指摘してい</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>る。「消滅」という表現に将来不安が高まっているかもしれないが、将来予測に振り回されることなく、人口減少にどう向き合うか問う。</p> <p>(1) 市長は近年の人口減少の状況について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 人口減少に伴い、自治体としてどのような問題が発生するのか。</p> <p>(3) 以前は人生のリスクの受け止め先として、家族（配偶者・子ども）や地域共同体の相互扶助に求めている状況が、高度経済成長期以降、市場経済の浸透によって変化したことが少子高齢化の要因となっていると考える。現在の現役世代はリスクをどのように解消しようとしているのか、所見は。</p> <p>(4) 家族内での助け合いの低下により高齢者の一人暮らしが増え、生活保護を受ける高齢者が増加していると言われているが、本市の生活保護受給者のうち一人暮らし高齢者数の推移は。</p> <p>(5) 親は老夫婦2人生活や独居老人生活で家庭が弱体化し貧困になり、国は、社会的扶養などで生活を支えてきた。こうしたことで、子どもは蓄えと社会的扶養を見込み、その結果、社会的扶養が拡大してきた。こうした流れの要因は何と考えるか、所見は。</p> <p>(6) 人口減少や高齢化に歯止めをかけるためにも、子育て支援の観点から充実した施策を展開することが有効である。出生率を上げる取組についての所見は。</p> <p>(7) 保育サービスの拡大などにより、子育てしながら働く共働き世帯が増えることで、税金や社会保険料の増加が見込まれる。労働力確保の観点から子ども・子育て支援施策を展開してはと考えるが所見は。</p> <p>(8) 移住促進と同時に若年層の流出を止める施策も必要と考えるが、所見は。</p> <p>2 農村RMOの形成について</p> <p>農村地域は少子高齢化や人口流出、農地の荒廃、担い手不足など様々な課題を抱え、集落活動実施率は低下し、食料供給機能や多面的機能の維持・発揮、買い物や子育てといった生活に支障が生じている。これらの課題を解決するためには様々な関係者が連携し、地域全体でコミュニティの機能を維持・強化することが必要である。地域で暮らす人が中心となって地域課題に取り組む「農村RMO」の形成について問う。</p> <p>(1) 食料供給機能を担う農業従事者の平均年齢は。</p> <p>(2) 農地としての維持が困難な土地が増大していると考えますが、耕作放棄地はどの程度拡大しているのか。</p> <p>(3) 認定農業者、集落営農組織への利用集積はメリットがあるが、デメリットについての所</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	--	--------------------

		<p>見は。</p> <p>(4)農村の弱体化を見ると農村振興を主眼とした施策「農村RMO」の形成が必要と考えるが、所見は。</p> <p>(5)農村地域のコミュニティの再構築や農業の効率運営を目指すには知恵と工夫と知識と資金が必要である。市が先導して取り組むべきと考えるが、所見は。</p> <p>(6)消費者が地域外ファンとして農作業の応援や行事に参加することで、亀岡のファンとなり、交流人口の増加や田舎暮らしに憧れる移住、地域のブランド化にも通じると考えるが、所見は。</p> <p>(7)農村RMOの関連施策として「地域おこし協力隊」があるが、本市はその特別交付税措置の対象外である。非常に効果のある施策であると考え、市独自で外部人材を活用した施策が考えられないか。</p>		
		<p>3 育親学園開校後の経過状況について</p>	<p>育親学園が開校し2か月が経過したが、その状況について問う。</p> <p>(1)令和6年3月の予算特別委員会において市長質疑した通学安全対策について、開校から現在までの対応状況は。</p> <p>(2)廃校となった3小学校の跡地管理の状況は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
9	<p>浅田 晴彦 6月19日(水) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 丹波畜産の経営、環境保全について</p> <p>2 川東保育所の整備について</p> <p>3 亀岡市立図書館中央館について</p> <p>4 平の沢池駐車場等の整備に</p>	<p>養豚事業者である丹波畜産について、経営の見通しや以前から課題となっている環境保全の現状について問う。</p> <p>(1)経営の見通しは。</p> <p>(2)環境保全の現状は。</p> <p>川東保育所の改築や移転を含めた整備構想について、馬路町自治会の意向を確認する中で検討が進められていると思うが、今後の展望について問う。</p> <p>(1)どのような整備計画を検討しているのか。</p> <p>(2)保育所の規模はどれくらいか。</p> <p>(3)整備に係るスケジュールは。</p> <p>リニューアルオープンとなった亀岡市立図書館中央館「こもれびの森 かめおか」は、随所に木材が使用され、森の中で本を読んでいるかのような場所となり、また、無料Wi-Fiの完備、蓋付きの飲物も持込み可能で、閲覧席数も以前より約3倍増の106席となった。そこで地震災害に係る安全対策について問う。</p> <p>(1)本棚の本の前に、落下防止用テープを貼ってはどうか。</p> <p>平の沢池中池の駐車場整備の図面に基づき、地元と協議を進められている。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>ついて</p> <p>5 月読橋東詰交差点について</p> <p>6 亀岡市職員の名札について</p>	<p>(1) 夜間の利用も含め、安全面を考えた照明や歩道の安全対策、バリアフリーなどはどのように考えているのか。</p> <p>(2) 平の沢池下池、中池の展望デッキ改修工事を早期に行えないのか。</p> <p>主要地方道宮前千歳線と市道馬路三ツ辻線が交わる月読橋東詰交差点では、馬路町側から国道9号へ向かう車両や右折して南丹市八木町方面へ向かう車両で交通量が大変多いものの、右折レーンがないため渋滞が発生している。</p> <p>(1) 交差点に右折レーンの設置、または多くの車両が直進及び右折できるように時差式信号機に変更できないか。</p> <p>現在、亀岡市職員の名札は写真入りで、かつフルネームで記載されているが、個人情報保護や職員に理不尽な要求、クレームを突きつける「カスタマーハラスメント」対策として、改善が必要と考える。</p> <p>(1) 職員の名札を写真無し、名字のみに変更されてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
10	<p>原野実生子 6月19日(水) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 地域包括支援センターについて</p> <p>2 市立病院事業について</p>	<p>高齢者の一番の相談窓口として、地域包括支援センターの柔軟な人員配置について問う。</p> <p>(1) 地域包括支援センターの運営責任者は。</p> <p>(2) 現在の人員配置基準にのっとり、各センターの人員は充足しているのか。</p> <p>(3) 柔軟な人事派遣体制が必要であると考えが所見は。</p> <p>令和5年9月議会から市立病院の経営や小児科医の配置願等について取り上げてきた。これまでの取組の経過や、小児科医師の配置の現状について問う。</p> <p>(1) 昨年度の病床利用率は。</p> <p>(2) 昨年度の救急応需率は。</p> <p>(3) 救急患者受入れ後に、二次救命処置を行い転院するケースはあるのか。</p> <p>(4) 令和5年9月議会で提案した小児科医の増員希望について現状は。</p> <p>(5) 市立病院の小児科について、今後一層市民に周知する必要があると考えるが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 病院管理事業者</p>
11	<p>三上 泉 6月19日(水) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 脱炭素社会にむけた移動手段について</p>	<p>かめおか脱炭素宣言を行った本市の将来的な移動手段の在り方について、昨年的一般質問でも、様々な提案を行ってきたが、世界に誇れる環境先進都市を目指す本市として、自家用車に頼らない市民の移動する権利の保障という視点でも、世界に誇れる先進的な取組を構想すべきであると考え。</p> <p>(1) 本年4月に、脱炭素化社会の実現、災害に強い持続可能なまちづくりに向けて「電気自</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 ワクチン接種後遺症の支援について</p>	<p>動車を活用した脱炭素化及び強靱化に関する連携協定」を関連企業と締結されたが、これらと結びついたバスの電気自動車化、電気自動車によるデマンド輸送など、本市の目指す未来像と亀岡市地域公共交通計画は関連付けられているか。ぜひ補強すべきではないか。</p> <p>(2) 上記のような輸送手段を全国に先駆けて実施すべきではないか。</p> <p>(3) 脱車社会を担うバス交通の充実は不可欠であり、各地域からも市民の要望が多く出されていると認識している。より便利なバス交通網にすることで利用が増えるのではないか。</p> <p>(4) 環境に優しく、健康増進に寄与する、自転車の利用促進へ、これまでも、自転車専用道路の整備など環境整備を求めてきたが、もう少し前向きに計画できないか。</p> <p>(5) 市民の移動権の保障、環境に優しいまちづくり、市民の健康増進、子どもや高齢者などの教育や福祉に関わる移動手段など、様々な課題に対応した移動手段を、まちづくり、福祉、教育が横断的に連携して構築すべきではないか。</p> <p>(6) 敬老乗車券の販売を縮小する動きがあると聞くが、それはいかがなものかと懸念する。むしろこれからは充実させるべきである。年間フリーパスを新設して「親や祖父母にプレゼントしよう」などのキャンペーンを行うのも一案と考えるが所見は。</p> <p>(7) 駅前駐輪場の業務委託先が変更になった。新紙幣導入に合わせた精算機の入替えが今回JR亀岡駅前駐輪場だけと聞いているが、よもやそのままということではないと思う。他の駅前駐輪場の精算機も順次入れ替える計画を示されたいがどうか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、それまでは、国策としてワクチン接種を奨励してきた。一定の効果はあったと言えるが、ワクチンの副反応が後遺症として残り、今も苦しんでいる市民がおられるはずである。仕事や社会に復帰できないでいる市民がいれば、奨励してきた国や行政は救済の手立てをしっかりと行うべきである。</p> <p>(1) ワクチン接種の後遺症に苦しむ市民をどの程度把握されているか。</p> <p>(2) 支援制度にはどのようなものがあって、それらをどのように周知しているのか。</p> <p>(3) 本市で制度に基づき、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の後遺症での支援を申請された方、実際に支援を受けておられる方はどれくらいおられるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	---------------------------	---	--------------------

		<p>3 運動場・球技場の整備について</p> <p>4 関西万博への児童生徒動員について</p>	<p>昨年12月議会で、桂川堤防・護岸高水敷等を活用して、子どもの数が多い篠町地域の球技場・運動場をつくるべきとの質問を行ったが、「高水敷の整備は未着手であるため、議員提案の球技場・運動場なども含めて今後、整備に向けて検討していきたい」との答弁があった。</p> <p>(1) その後の検討はどのようなプロセスを経て行われるのか。具体的な進捗状況と合わせて答弁を求める。</p> <p>来年4月開会の大阪・関西万博の会場予定地に建設中のトイレで3月28日、メタンガスによる爆発事故が起きた。事故が起きた夢洲1区は、約80本のガス抜き管から1日約1.5トンの可燃性メタンガスが発生しており、今後も事故が起きない保証はない。また、児童生徒が毎日1万人以上訪れる計画だが受入れの施設設備や体制は不十分で問題視されている。ご当地大阪府でも自治体によっては強制的な動員をしないと宣言している。</p> <p>(1) 京都府の計画はどうなっているのか。  (2) 本市は、どのような姿勢で臨むのか。  (3) 学校の自主性を重んじ強制しないことを基本とすべきであるが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
12	<p>山本由美子 6月20日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 高齢者等への支援について</p> <p>2 小1の壁解消について</p>	<p>加齢などにより耳が聞こえにくい方や日常生活での「聞こえ」に不安を感じている方が安心して来庁できる環境整備を行うことは重要である。</p> <p>(1) 本市の市役所窓口では耳の聞こえにくい高齢者の方などへの対応はどのようにされているのか。  (2) 軟骨伝導イヤホンについて認識は。  (3) 耳が聞こえにくい高齢者の方などと円滑にコミュニケーションが取れるよう市役所窓口などに軟骨伝導イヤホンを設置すべきと考えるが見解は。  家庭ごみを地域のごみステーションに持ち出すことが困難な高齢者や障がい者の方などを対象に、家庭ごみの戸別収集を行うなどの支援が進められている。  (4) ふれあい収集の現状と今後の展開は。  (5) 粗大ごみの処分に際し、高齢者や障がい者の方などのみで構成する世帯、かつ、自力で粗大ごみを屋外に運び出すことが困難な世帯などへ、粗大ごみの運び出し収集を実施する考えは。</p> <p>共働き世帯やひとり親世帯において、子どもの小学校入学を機に仕事と子育ての両立が難しくなる小1の壁と呼ばれる状況が発生し、特に児童の登校時間より、早く保護者が出勤する家庭では朝の時間帯の子どもの居場所が課題となっている。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>3 図書館サービスの充実について</p>	<p>(1)「小1の壁」と言われる状況について認識は。</p> <p>(2)学校開設日の登校時間や長期休業時のかめおか児童クラブの開設時間は。</p> <p>(3)朝における小1の壁に対する保護者の要望やニーズの把握はされているのか。</p> <p>(4)本市職員の働き方で時差出勤や部分休業などがあるが、いずれも小学校就学前の子どもを養育している場合に限り利用できることとなっている。さらに仕事と子育ての両立が可能となるよう、本市独自の働き方として小学校に就学しても利用できるよう、対象を拡充してはどうか。</p> <p>昭和55年に開館した亀岡市立図書館中央館が本年5月1日、木のぬくもりを感じながら読書を楽しむことができる図書館としてリニューアルし、より一層市民に親しまれ、多くの方の利用が期待されている。</p> <p>(1)雑誌スポンサー制度導入に向けて、これまでの検討状況及び課題は。</p> <p>(2)図書館サービスの充実を図るため、雑誌スポンサー制度を導入する考えは。</p> <p>(3)ブックスタート事業において、日本語以外を母語とする方への対応について現状は。</p> <p>(4)日本語以外を母語とする方へのサポートとしてNPOブックスタートが提供している多言語対応のブックスタートの趣旨を伝えるブックスタート紹介シートや絵本紹介シート、ポスターなどを活用してはどうか。</p> <p>(5)図書館利用のきっかけづくりとして小学1年生に「としょかん1年生パック」を配布してはどうか。</p> <p>(6)電子図書館・電子書籍貸出サービスの導入について見解は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
13	<p>法貴 隆司 6月20日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 道路インフラ整備について</p>	<p>地域の方が日常で使用する生活道路の整備は住環境の向上には欠かせない。また防災の観点からも災害時における緊急車両の通行や避難、救助活動にも影響を与えるなど必要不可欠である。</p> <p>(1)曾我部町中区の市道寺中線の梅田橋が老朽化、狭小のため、地元から架け替えの要望があるが対応できないか。</p> <p>(2)曾我部町重利区の市道中山神原線の側溝に土砂等が堆積し、大雨時に道路から上ノ谷の住宅街に流れ込んでおり、地元から根本的整備の要望が出ているが対応できないか。</p> <p>(3)曾我部町西条区の市道西条穴太線の道路が崩れており、緊急車両の走行に支障をきたすおそれがあるため、地元から要望が出ているが整備計画は。</p> <p>(4)曾我部町中区の西山盛土において、東面と南面にも盛土が広がり土砂崩れが発生して</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>いる。崩落すると大きな被害が予想されるため、神社に隣接する箇所に砂防壁を設置する等の対応はできないか。</p> <p>(5) 亀岡市立吉川小学校前の市道吉川学校線に侵入してきた車両が通り抜けできないため、校門前や民家の前でUターンをして危険である。侵入前に注意喚起する看板を設置する等の措置はできないか。</p>		
	2 インクルーシブ社会の実現について	<p>全ての人が共に生き、共に成長し、共に繁栄するために、多様性を認め合えるインクルーシブな社会を実現する必要がある。</p> <p>(1) 福祉のまちづくりの観点から公共施設や公共交通のバリアフリー化の進捗状況と今後の計画は。</p> <p>(2) 今後の重層的支援体制を実施するにあたり直面している課題や問題は。</p> <p>(3) 第73回亀岡平和祭保津川市民花火大会は車椅子専用観覧エリアを設けるのか。またバリアフリートイレは設置するのか。</p> <p>(4) 本市における外国籍住民の人数は。</p> <p>(5) 外国籍住民向けの日本語教育支援の現状は。</p> <p>(6) 地域の外国籍住民からの意見や要望をどのように収集し、反映されているのか。</p> <p>(7) 教員のインクルーシブ教育に関する研修の実施状況は。</p>	市長 教育長 所管部長	
	3 有害獣のジビエ施設について	<p>深刻な獣害被害を受けている農業従事者を守るため、行政はあらゆる手段を講じ、農業の安定した運営を支えると共に、子どもたちが食の大切さや地域資源の重要性を学ぶ必要がある。</p> <p>(1) 本市における獣害による農作物被害の現状とその対策は。</p> <p>(2) 食用肉やペットフードに加工できるジビエ処理加工施設建設の予定は。</p> <p>(3) 地産地消、食育の取組の一環としてジビエを学校給食に提供してはどうか。</p>	市長 所管部長	
	4 観光振興について	<p>観光産業は地域経済の発展に重要な役割を果たす。本市においても豊かな自然景観や歴史的な文化財、特産品など多くの観光資源が存在する。これらの資源を効果的に活用し観光客を呼び込み、地域経済の発展に繋げる必要がある。</p> <p>(1) 令和6年10月1日にオープンする京都丹波／亀岡夢コスモス園の期間中、野水池跡地が工事中のため駐車場やバスの乗降場として使用できないが対応策は。</p>	市長 所管部長	
14	平本 英久 6月20日(木) 13:00~	1 不当要求行為等対策条例について	<p>地域課題や個々の相談業務など常に市民に寄り添い対応してきた本市であるが、このたびの亀岡市不当要求行為等対策条例の制定について問う。</p>	市長 所管部長

※一問一答		<p>(1) 亀岡市不当要求行為等対策条例とはどのようなものか。</p> <p>(2) 亀岡市不当要求行為等対策条例の制定に至った経緯は。</p> <p>(3) 亀岡市不当要求行為等対策条例の制定によりどのような効果が期待されるか。</p>	<p>にぎわい創出や市民のニーズに合わせて様々なイベント等を数多く行っているが、分析や検証を通して今後開催するイベント等にどう反映させていくのか本市の考え方について問う。</p> <p>(1) 先般開催された「ももクロ春の一大事2024 in 亀岡市」の来場者等の状況や成果は。</p> <p>(2) 「ももクロ春の一大事2024 in 亀岡市」の開催による経済効果をどのように分析しているのか。</p> <p>(3) 本年度開催する亀岡平和祭保津川市民花火大会では、二尺玉の打ち上げやももいろクローバーZ並びに彩羽真矢さんとのコラボ企画があるが、具体的にどのようなものか。</p> <p>(4) 昨年の花火大会で見られた課題への対策は。</p>	市長 所管部長
	2 本市で開催されるイベントについて	<p>子どもファーストを宣言する本市として、これまでも子どもたちにとって住みやすいまちづくりを軸に子育て支援等の施策を推進して来たが、ヤングケアラーの実態把握並びに今後の取組について問う。</p> <p>(1) ヤングケアラーの実態把握を行うためのアンケート調査の結果は。</p> <p>(2) 今回のアンケート調査の結果をどのように受け止めているのか。</p> <p>(3) ヤングケアラー対策を行う体制整備の現状と進捗は。</p> <p>(4) ヤングケアラー対策について今後どのように取り組んでいくのか。</p>	<p>子どもファーストを宣言する本市として、これまでも子どもたちにとって住みやすいまちづくりを軸に子育て支援等の施策を推進して来たが、ヤングケアラーの実態把握並びに今後の取組について問う。</p> <p>(1) ヤングケアラーの実態把握を行うためのアンケート調査の結果は。</p> <p>(2) 今回のアンケート調査の結果をどのように受け止めているのか。</p> <p>(3) ヤングケアラー対策を行う体制整備の現状と進捗は。</p> <p>(4) ヤングケアラー対策について今後どのように取り組んでいくのか。</p>	市長 所管部長
	3 ヤングケアラーについて	<p>環境先進都市を目指す本市としてごみの再資源化やごみの分別拡大等に積極的に取り組んできたが、今後の新たな環境政策について問う。</p> <p>(1) 環境プロモーションセンターの工事進捗と活用法についての考えは。</p> <p>(2) 家庭ごみの分別拡大の成果と実績は。</p> <p>(3) 本市として脱炭素に向けた新たな取組や今後の展開は。</p>	<p>環境先進都市を目指す本市としてごみの再資源化やごみの分別拡大等に積極的に取り組んできたが、今後の新たな環境政策について問う。</p> <p>(1) 環境プロモーションセンターの工事進捗と活用法についての考えは。</p> <p>(2) 家庭ごみの分別拡大の成果と実績は。</p> <p>(3) 本市として脱炭素に向けた新たな取組や今後の展開は。</p>	市長 所管部長
	4 環境先進都市としての展望について	<p>これまで市民の安全・安心につながるまちづくりという観点から、防災や減災に向けて取り組んできた本市であるが、今後のまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 西つつじヶ丘をはじめとした傾斜地において団地を形成する住宅地では、擁壁等に経年</p>	<p>これまで市民の安全・安心につながるまちづくりという観点から、防災や減災に向けて取り組んできた本市であるが、今後のまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 西つつじヶ丘をはじめとした傾斜地において団地を形成する住宅地では、擁壁等に経年</p>	市長 所管部長
	5 防災減災のまちづくりについて			



<p>※一問一答</p>	<p>2 介護保険制度について</p>	<p>務文教常任委員会からの学校給食に係る提言をふまえ、令和10年より実施するとしている「亀岡市学校給食」について市長の考えを問う。</p> <p>(1) 市長が学校給食実施に際して、一番大切にしたいと考えていることは何か。</p> <p>(2) 学校給食だけでなく保育所や幼稚園及び認定こども園においても、有機米給食の導入はできないか。</p> <p>(3) 保育所や幼稚園及び認定こども園の幼児に、安全で、温かく美味しい給食の提供が、次世代を担う者の健康保障につながる大切な事業であると考えているが、市長の所見は。</p> <p>(4) 防災の観点から、各校に自校調理設備があれば災害時に対応できる。せめて小規模調理施設で調理をすれば、災害時にも役立つと考えるが所見は。</p> <p>今年度から始まった「第9期亀岡市介護保険計画」は、「住んでよかった亀岡、高齢になっても楽しい亀岡」を基本理念としている。高齢者一人ひとりが生きがいや役割を持ち、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるまちを目指すと書かれている。しかし、今年度は介護保険料の引上げが行われ、特に低所得の高齢者の方からは、「サービスを受けたくても高く受けられない。」また、介護が必要な人を家族に持つ方からは「高齢のため介護が難しく事業所に入所したいが、事業所が一杯でいつまで待たばいいかもわからなく不安。」等の相談がある。</p> <p>(1) 第8期介護保険事業計画の終了時点における基金残高及び、第9期介護保険に対する基金取崩し額はいくらになったのか。</p> <p>(2) 第8期では、基金取崩しにより保険料額が据え置かれたが、第9期では基金の取崩しが減額となり、保険料が値上がりしたと考えられる。基金取崩しにより保険料を据え置くことはできないのか。</p> <p>(3) 市民から「介護保険についてどこへ行けばいいのか？」との問い合わせがある。介護保険制度を利用したい時には、まずどこに相談するのか。</p> <p>(4) 介護保険の被保険者が40歳、65歳など節目になる年齢で、制度の周知や必要なサービスのお知らせはできているか。</p> <p>(5) 保険料負担が増え、相談が難しい「介護保険制度」を利用しやすくする事が必要と考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 認知症の方の支援体制について</p>	<p>日本は超高齢社会を迎えている。警察庁によれば、年間6万8千人の高齢者が独居状態で死亡していると推計されている。また、厚生労働省によると認知症の高齢者数が2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の5人に1人に達す</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>ると見込まれている。亀岡市においても今後ますます高齢化が進み、高齢者世帯や独居高齢者、認知症を発症する高齢者が増加すると考えられる。より一層の高齢者の見守り体制や支援体制が必要になると思われる。そこで以下の点について問う。</p> <p>(1) 地域での高齢者の支援・見守りの一端を担う「民生委員」の不足が生じていると令和6年3月議会での答弁であったが、その後、補充できているか。</p> <p>(2) 介護認定における主治医意見書は、介護認定の申請の遅れが生じることのないように「主治医のいない方は市町村が紹介する医師の診断を受ける」と手引に書かれているが、できているか。</p> <p>(3) 認知症の診断ができる「物忘れ外来」は亀岡市内に7箇所あると調べて認識しているが、医療機関数とサービスの充実が必要だと感じるが所見は。</p>		
	4 市内特別支援学級の状況について	<p>以前は、障害児教育と呼ばれていたが、特別支援教育に変わり、学習障がいなどの障がいの理解も進んできた。また、2024年合理的配慮の法的義務化により、障がいの有無によって別け隔てなく相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現を目指す中で、特別支援教育への期待もさらに大きなものがあると考え。市内特別支援学級の状況について問う。</p> <p>(1) 市内特別支援学級に在籍する児童生徒の過去5年間の推移は。</p> <p>(2) 就学にあたっての進路相談を亀岡市教育支援委員会で行っているが、委員会が勧める進路を選択しなかった場合、どのように対応しているか。</p> <p>(3) 特別支援学級1学級当たり8人までが国の基準である。特別支援学級1学級に7人や8人の児童生徒が在籍する場合、1人ひとりに合わせた教育を行うためには厳しいと考える。なにか支援はないか。</p>	市長 教育長	
17	<p>富谷加都子 6月20日(木) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	1 带状疱疹ワクチン接種助成について	<p>80歳までに3人に1人が発症するといわれている带状疱疹めぐり、国ではおたふくかぜワクチンと带状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた議論が行われている。そのような中、带状疱疹を未然に防ぐ観点から、独自に带状疱疹ワクチン接種に対する助成を行っている自治体が400に迫っている。</p> <p>(1) 市内における带状疱疹の発症状況は。</p> <p>(2) テレビのCMや病院の周知により、带状疱疹は、ワクチン接種によって予防できると市民の認知度が高まっている。接種助成の要望をどのように把握しているのか。</p> <p>(3) 50歳以上の方を対象に、ワクチン接種費</p>	市長 所管部長

		<p>2 婚活支援について</p>	<p>用の約50%を助成したと仮定して、以下について問う。</p> <p>①助成対象者の人数は。</p> <p>②他市の状況を鑑み、接種率を2%とした場合の接種人数は。</p> <p>③接種割合を水痘生ワクチン30%、带状疱疹不活化ワクチン70%とした場合の概算費用は。</p> <p>④費用対効果は。</p> <p>(4) 市民の健康を守るという観点から、国の動きを待たずに带状疱疹ワクチン接種費用の助成を実施すべきであると考えているが、所見は。</p> <p>未婚化が深刻な問題となっている中、きょうと婚活応援センターの役割には期待しており、昨年、同センターが導入されたAIマッチング(きょう婚ナビ)の登録者は急増していると聞いている。</p> <p>(1) 亀岡市内在住者の登録者数は。</p> <p>(2) きょうと婚活応援センターが把握している婚活支援による成婚状況は。</p> <p>(3) 会員になるための本登録が予約待ちの状況であり、亀岡市内でスポット登録会の開催を望む声があるが、予定はあるのか。</p> <p>(4) 婚活マスター制度というものがあり、利用者からは、よりよい出会いの場を提供していただけたと喜びの声を聞いている。市内に婚活マスターが増えれば、それだけ支援の輪が広がると考えるが、市として後方支援を行う手段はないか。</p> <p>(5) きょうと婚活応援センターに登録し、交際が始まった方の話を聞かせていただく機会があった。登録のきっかけは、京都市内在住の友人から教えてもらったとのことであった。本市においても、婚活を望む方が、この事業にアクセスしやすくなるような広報を検討してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 資源循環の取組促進について</p>	<p>ごみの削減や再資源化を通じて付加価値を生み出す経済活動「サーキュラーエコノミー」の実現は、ゼロカーボンシティを目指す本市として重要な取組である。</p> <p>(1) ペットボトルは、分別回収をはじめ、リサイクルボックスの配置等により、適切にリサイクルが進んでいるが、ペットボトルキャップの正確な回収状況は明らかではない。</p> <p>① 亀岡市社会福祉協議会や学校等がエコキャップ運動として回収しているが、現状はどうか。</p> <p>② ペットボトルキャップは、単一素材で質の高いリサイクルが可能とされている。市民に身近な取組としてペットボトルキャップの資</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>源化を推進する考えは。</p> <p>(2) 今年度から、使用済みおむつの再資源化がモデル事業として進められる。他市においては、紙おむつのリサイクルに伴うコストや二酸化炭素の削減効果等から事業の実施に踏み出せない中、本市が一步踏み出したことを大いに評価する。</p> <p>①将来的に採算ベースに乗る事業とするためには、再生材の量の確保が必須であるが、資源有効利用促進法の下、広域連携等も含めた長期的な将来ビジョンについての考えは。</p> <p>(3) 環境課題を解決するためには、地域を超えて行動変容を広げることが重要である。本市においては、環境省も含め官民で連携し、京都サンガF. C. のホームゲーム時に、モバイルバッテリーの回収を行っている。</p> <p>①昨年度回収された、モバイルバッテリーの実績は。</p> <p>②この取組は、官民連携による循環経済の取組として、広域的に国民の意識改革や行動変容に有効であると考え。世界に誇れる環境先進都市として、新設された亀岡市環境プロモーションセンターとも連携し、京都サンガF. C. のホームゲーム時に継続してこの事業が実施できないか。</p>		
	4 介護施策について	<p>高齢化の進展により、介護に対する需要が高まっている。</p> <p>(1) 介護保険申請者が増えている中、ケアマネジャーの確保も大きな課題の一つである。亀岡市独自の施策として、介護人材確保事業助成金に、ケアマネジャー法定研修の初回受講料を対象経費に含められないか。</p> <p>(2) 介護予防・日常生活支援総合事業は、市町村主体で実施する地域支援事業であるが、介護予防通所介護の単価を実費相当分にできないか。</p>	市長 所管部長	
18	<p>西口 純生 6月21日(金) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	1 全国都市緑化フェアについて	<p>全国都市緑化フェア in 京都丹波の開催について問う。</p> <p>(1) 開催テーマや日程、想定人数等、全国都市緑化フェア in 京都丹波の概要は、いつ頃決定するのか。</p> <p>(2) 2市1町の特徴ある魅力の発信と賑わいの創出、経済波及効果が重要な課題であるが、どのような計画があるのか。</p> <p>(3) 前回と同様に皇室から来賓が来られる可能性はあるのか。来ていただければ、京都丹波地域の知名度向上につながると考えるが所見は。</p> <p>(4) この事業を誘致することで、次世代に与える影響と社会に与える影響をどのように考えているのか。</p>	市長

		<p>2 安全・安心のまちづくりについて</p>	<p>桂川では、上下流でバランスがとれた治水対策等が成果を出しており、安全・安心のまちづくりも順調に推進されている。</p> <p>(1) 桂川整備については、嵐山の渡月橋上流左岸の可動式止水壁の整備と保津橋下流の霞堤4箇所1メートル嵩上げを同時完成させたことは、画期的な出来事であるとして高く評価しているが、亀岡市としての見解は。</p> <p>(2) 天井川である七谷川の改修も順調に進めていただいているが、完成はいつ頃になるのか。</p> <p>(3) 効果的な河川整備として、次はどのようなことを行っていくのか。</p> <p>(4) 谷山池決壊時に、住民に対してどのように緊急避難を知らせるのか。</p> <p>(5) 生活道路の規制の変更とはどのようなものか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 子育て支援について</p>	<p>全国的にも広がり始めた子育て支援策について問う。</p> <p>(1) 生活困窮者の子育て支援策として、泉佐野市のコミュニティフリッジを参考に「お互いさん」の気持ちを拡大して、無償で食材・日用品等を提供し、子どもが子どもらしく生活できるよう「みんなの公共冷蔵庫」を事業展開できないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 子どもの夢の後押しについて</p>	<p>子どもの夢の後押しについて問う。</p> <p>(1) 以前、ひたむきに楽器を演奏し、夢中で吹奏楽に励む小・中学生にチャンスを与えるテレビ番組があり大変感動した。テレビ番組ではプロの楽団の中で、子どもに独奏するチャンスが与えられており、本市でも夢を追う子どもたちに、実力が発揮できるチャンス・機会を与えてはどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
		<p>5 ハラスメント対策について</p>	<p>多様なハラスメントがあるが、略語では意味が分からないものもある。</p> <p>(1) ハラスメントには、パワハラ・カスハラ・マタハラ等、数多くの種類があり、無意識にハラスメントが起きてしまう可能性もあるが、市民はハラスメントについて、どれだけ認識していると考えているのか。</p> <p>(2) 国家公務員は人事院が、地方公務員はそれぞれの地方公共団体が職員を守るための予防と対策を行うこととされている。ハラスメントを防止するためのルールはあるのか。</p> <p>(3) 新たなハラスメントが増えていることを知られていないことが多い。職員一人に背負わせないため、困難をみんなでも共有して、みんなを守るルールづくりが重要であると思うが、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

			(4) 厚生労働省の調査で、相談相手の多くは同僚・先輩・上司・家族とされているが、上司は責任逃れする傾向があると言われている。職員を守るのは誰か、市長の見解を求める。	
19	木村 勲 6月21日(金) 10:45~  ※一問一答	1 国道9号の災害対策について  2 JR嵯峨野線の災害対策について  3 並河亀岡停車場線について	<p>国道9号老ノ坂峠は重要な生活道路であり、豪雨や大雪で通行止めとなれば亀岡市は陸の孤島と化す。今後の道路整備と対策について問う。</p> <p>(1) 雪や雨で通行禁止となる通行規制基準の数値はどうなっているのか。</p> <p>(2) 基準は峠により数値が異なるが、どのように設定されているのか。</p> <p>(3) 国道9号老ノ坂峠法面の改良工事の予定はされているのか。</p> <p>(4) 国道9号ダブルルートの早期実現が望まれるが進捗状況は。</p> <p>(5) 国道9号老ノ坂峠が通行止めになった場合における京都縦貫自動車道の高速道路料金の補助について、所見は。</p> <p>JR嵯峨野線は令和5年1月の大雪の際には運転見合わせとなり、先月5月28日の大雨の際には午後3時以降京都駅～園部駅間は運転取り止めとなった。その間、京都市と亀岡間を通勤する人がJRで帰宅できず、亀岡市が孤立する状況となった。今後の災害対策とJR嵯峨野線運休時の支援について問う。</p> <p>(1) 昨年1月の大雪の際の運転見合わせの原因は。また原因の対策について要望されているのか。</p> <p>(2) 先月の大雨の際の運休の原因は。また原因の対策について要望されているのか。</p> <p>(3) JR嵯峨野線運休時のJR亀岡駅からの振替輸送がないが、市としての要望や支援の考えはあるのか。</p> <p>(4) JR嵯峨野線運休時の亀岡市立病院及び京都中部総合医療センターの医療従事者への対策はされているのか。</p> <p>(5) コロナ禍以降JR嵯峨野線は上下線とも減便され利用者は大変不便な思いをしているが、JRへの要望や協議の状況は。</p> <p>都市計画道路並河亀岡停車場線について、大井町並河坂井地区の立ち退きも地元からのご協力によりほぼ完了した。工事の進捗状況と府道王子並河線の今後の計画について問う。</p> <p>(1) 都市計画道路並河亀岡停車場線の完成時期は。</p> <p>(2) 都市計画道路並河亀岡停車場線の完成後、府道王子並河線の経路はどうなるのか。</p> <p>(3) 現在の府道王子並河線は市道となる予定とも聞くが、通学路にもなっており、道路施設や交通規制についてどのように計画されて</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 桂川西工区の進捗について</p> <p>5 大井町内の河川整備について</p> <p>6 保津川市民花火大会について</p>	<p>いるのか。</p> <p>国営緊急農地再編整備事業桂川西工区の進捗状況と右岸道路の予定について問う。  (1) 第1工区・第2工区が着工されているが、完成予定は。  (2) 雨水対策について所見は。  (3) 犬飼川と願成寺川に架かる橋の完成予定は。  (4) 橋の完成に伴い桂川右岸道路計画の進捗状況は。</p> <p>願成寺川と犬飼川の改良について問う。  (1) 国営緊急農地再編整備事業桂川西工区の完成に伴い、千代川町明晴地区の遊水地がなくなるため願成寺川に流れる水量は増加しないのか。  (2) 国営緊急農地再編整備事業桂川西工区の工事に伴い大堰川と願成寺川、犬飼川の3川合流地点の改良工事は計画されているのか。</p> <p>第73回亀岡平和祭保津川市民花火大会について、先日6月5日の京都新聞朝刊に今年の開催や亀岡市民専用の特別割引チケットについて掲載されていた。今年の開催内容について問う。  (1) 開催経費は昨年より4,000万円増加しているが、本市の負担はどうか。  (2) 昨年開催時における批判や反省点とその対策は。  (3) 花火について昨年との違いは。  (4) ドローンショーは昨年と同様なのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
20	<p>小川 克己 6月21日(金) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 春の一大事2024について</p> <p>2 JR嵯峨野線運行について</p>	<p>亀岡運動公園において、4月13日・14日ももクロ春の一大事2024 in 亀岡市が開催され、モノノフとよばれる熱狂的なファンをはじめ多くの方が亀岡市を訪れにぎわった。コンサートでは彩羽真矢さんが明智光秀に扮してサプライズで登場し、会場をにぎわせた。あわせて、亀岡運動公園が幅広い用途に利用できることも感じられた。  (1) ももクロ春の一大事2024 in 亀岡市開催によりどのような効果があったのか。また、課題は。  (2) 今回のイベントを今後どのように観光振興につなげていこうと考えているのか。  (3) 亀岡にお越しいただきSNSでも積極的に発信されている彩羽真矢さんに京都・かめおか観光PR大使にご就任いただいてはどうか。</p> <p>JR嵯峨野線は亀岡市民が市内外への通勤・通学に利用する公共交通機関である。市としてどのような協議や要望を行っているのか伺う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 環境施策について</p>	<p>(1) 先月5月28日、大雨の影響で京都駅～園部駅間が気象警報解除後も終日運転見合わせとなったことについて所見は。</p> <p>(2) 一部の区間ではコロナ前のダイヤに戻ったと言われているが、亀岡駅以北の現状をどう考えているのか。</p> <p>(3) サンガスタジアムでホームゲームが開催される際の混雑が半端でないと聞く。特に子どもは混雑に押し込まれると大人の視線から消える。ホームゲーム開催日における駅周辺やJRの混雑状況について現状をどう把握しているのか。</p> <p>世界に誇れる環境先進都市として様々な施策を展開し成果をあげているが、それぞれ検証も必要ではないかと考える。</p> <p>(1) ごみ収集について問う。</p> <p>①以前ごみ収集車で火災が発生したが、分別の状況と啓発の状況は。</p> <p>②資源ごみのプラスチックとペットボトルを別日に収集しているが効率はどうか。</p> <p>(2) ポイ捨て防止について問う。</p> <p>①かめおか環境デー、ポイ捨て撲滅大作戦はどのくらいの方が参加し、成果・効果はどうだったのか。</p> <p>②ポイ捨て防止や不法投棄撲滅に向けた今後の取組は。</p> <p>(3) 犬と暮らしやすいまちを目指す中で、自然豊かな本市では犬をはじめ動物とゆっくり過ごせる癒しの空間が生まれると思うが、糞尿処理が問題である。どう解決しようとしているのか、所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 千々川橋の架け替えについて</p>	<p>北ノ庄バイパスも整備され、国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区千代川工区も起工式が行われ槌音高く整備が進んでいる。国道9号の歩道整備やバリアフリー化、千々川橋の架け替えについて、今後の計画と進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 千々川改修は高野林工区では下流から鋭意工事を進めていただいているが、ボトルネックである千々川橋の架け替え用地協議の進捗状況や工事着手の時期は。</p> <p>(2) 国道9号の西側歩道拡幅と、千代川駅前交差点から千原交差点までの、亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)整備に向けた協議や進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 モルック普及について</p>	<p>フィンランドが発祥と言われる、モルックという木を投げて複数の木製のピン(スキットル)を倒し得点を競う競技がある。昨年11月には亀岡運動公園で第1回モルック大会が開催され、手軽さもあり地域でも広がりつつある。</p> <p>(1) 本年度の大会予定と普及について所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

21	<p>松山 雅行 6月21日(金) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 JR千代川 駅整備について</p> <p>2 交流人口増 加を目指す取組 について</p> <p>3 持続可能な 行財政運営につ いて</p> <p>4 里帰り出産 について</p>	<p>JR千代川駅の東西自由通路完成に向けて実 施設業務を進めており、エレベーター設置やト イレの設置等、JR西日本との協議でも鋭意交渉 と要望を行っていただいているが、現在の進捗に ついて問う。</p> <p>(1) 上下線ホーム屋根の延長整備はどうか。 (2) 利用者が駅へアクセスするにあたり、乗降 客の利便性に関して懸念点は。 (3) 駅舎の改装についてはどうか。</p> <p>これまでから様々な施策を通じて交流人口の 増加に取り組んできたが、今回2025年大阪・ 関西万博、2026年全国都市緑化フェア in 京 都丹波開催を通じて、本市をはじめ京都丹波の魅 力を国内外に発信し、さらなる交流人口の増加に つなぐことのできるチャンスである。今後の推進 方策について問う。</p> <p>(1) 豊能町、能勢町と本市の間で阪急バスとふ るさとバスの空白区間がある。とりわけ20 25年、2026年の2年間は時限的にも バスの接続もしくは本市からJR新大阪駅 まで直接乗り入れができるよう目指しては どうか。 (2) 大阪・関西万博の会場施設や資源をリユ ースのため受け入れることについて所見は。</p> <p>本市においては、2市1町による広域消防、医 療等とあらゆる場面において基礎自治機能の維 持に向けた取組をされてきた。これから先の人口 減少や高齢化がもたらす将来課題とその対応方 策については、市町村においても無視できない状 態である。今後の方向性について問う。</p> <p>(1) これまで組合方式等による自治体間の広域 連携に取り組んできたことで、住民サービス 向上につながってきたと考える。現在までの 取組を踏まえて、基礎自治体の広域連携につ いて本市の所見は。 (2) 今後、このままの住民サービスを維持して いくとなると、いつまで持続可能に行政運営 できるのか。</p> <p>平成29年度に厚生労働省が行った里帰り出 産の調査によると、出産に当たって里帰りした場 合の里帰り先は、同一都道府県外が全体の26. 9%、同一都道府県内(同一市町村外)が26. 1%である。一方で自治体間の情報共有や切れ目 のない支援が必要であると考え、本市におけ る里帰り出産の状況と対応について問う。</p> <p>(1) 住民票が本市にあり、市外へ帰省して出産 された方の令和5年度の人数とこの間の推 移は。 (2) 住民票が本市以外にあり、本市へ帰省して</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----	---	--	--	--

			出産された方の令和5年度の人数とこの間の推移は。 (3) 里帰り出産における他自治体や医療機関との妊婦に関する情報連携は行っているのか。	
--	--	--	---	--